

# 国語科学習指導案

知的障害特殊学級（はばたき学級）2人（男子1，女子1）

指導者 川野博司

## 1 題材 物語を読もう「おむすび ころりん」，「わらぐつの中の神様」

### 2 子どもの実態

A 児 (5年女)	難聴(補聴器装用時；右43dB，左39dB)があり，発音も不明りょうである。平仮名をゆっくりと読めるが，言葉の意味を理解することは難しく，本を読むときも挿絵や教師の身振りを見て，自分なりに感じたことを伝えようとする。日常生活では，具体物を用いたり，動作化をしたりして意思の伝達を図っている。
B 児 (5年男)	3年生程度の漢字の読み書きができ，物語文では，登場人物の「うれしい。悲しい。」といった感情を読み取ることはできる。しかし，場面に即した登場人物の考えについては，読み取ったり想像したりすることが不十分である。音読には意欲的で，気持ちを込めて読もうとする。

### 3 題材のねらい

教材文を読み進めるなかで，言葉の意味を聞いたり調べたりする活動を通して語いを増やすとともに，物語の内容について理解することができるようにする。また，会話文や行動から，登場人物の気持ちや考えをつかむことができるようになることをねらいとしている。

### 4 本 時 (3/12)

#### (1) 目 標

個人 目標	A 児 (5年女)	○ 教材文に出てくる言葉の意味について絵カードや教師の動作を基にして知り，場面の様子をとらえることができる。
	B 児 (5年男)	○ 場面の様子を読み取ったり，わらぐつに対するマサエとおばあさんの見方の違いを理解したりすることができる。

#### (2) 展 開 (45分)

時間	主な学習活動		教師の支援 評価
(分)	A児(5年女)	B児(5年男)	(A児)
(8)	1 五十音を読んだり，品物名を言ったりする。	1 漢字の練習をする。	○ 平仮名の読み方や発音について確かめることで，読もうとする意欲を高めるとともに，自信をもって音読することができるようにする。
	2 本時のめあてを知る。 「おむすび ころりん」を読もう。	2 本時のめあてを知る。 マサエとおばあさんは，わらぐつのことをどう思っているのだろうか。	○ 発声の際の口の形等をまねすることで，正しく音読することができるようにする。 ○ 言葉を書いたカードと絵カードを繰り返し合わせることで，意味を理解することができるようにする。
(30)	3 第一の場面の音読の練習をする。	3 本時で学習する場面を読み，意味の分からない言葉について調べる。	○ おじいさんやおにぎりの動きに合わせて，教師と一緒にその動きをまねすることで，文章の内容をとらえることができるようにする。 言葉の意味について知り，場面の様子をとらえることができたか。(A児)
	4 絵カードを基にして言葉の意味を知る。 ・ はたけ ・ ひとつ ・ やま ・ おむすび ・ おじいさん	4 マサエとおばあさんの，わらぐつに対する見方の違いを読み取る。 (マサエ) ・ みったぐない ・ そんなの迷信 (おばあさん) ・ いいど，あったかくて ・ あったかいし，軽いし，すべらんし ・ 神様がいなさる ・ 正真正正めい，ほんとの話	○ 漢字の読み書きの反復練習をすることで，正しく覚えることができるようにする。 ○ 国語辞典を利用して言葉の意味を調べるようにすることで，自分で解決していく力を身に付けることができるようにする。 ○ 文中のマサエとおばあさんの会話について区別した後に，教師と役割を決めて二人の会話のやりとりを実際に行うことで，わらぐつに対するそれぞれの見方の違いについて読み取ることができるようになる。 わらぐつに対する二人の見方の違いを理解することができたか。(B児)
	5 文章に合わせた教師の動作を基にして話の内容を知る。 ・ たがやす ・ おなかすいた ・ たべようか ・ つつみを ひろげた ・ ころがって ・ ころころ ころりん ・ かけだした	5 音読の練習をする。	(A児，B児共通) ○ 本時の学習について称賛や励ましの声かけを行うことで，次時の学習への意欲を高めることができるようにする。
(7)	6 本時の学習について振り返り，まとめをする。	6 本時の学習について振り返り，まとめをする。	
	7 次時の学習を確認する。	7 次時の学習を確認する。	